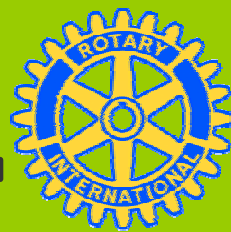


RI 第2820地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月7日

RI 第3520地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社



TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 山本 和男 幹事 白田 八束
事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)

【URL】<http://www.tuchiura-rc.org>

【E-mail】office@tuchiura-rc.org
【FAX】029-824-8830



秋深し・・・

RI 会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2005年～2006年度 国際ロータリーのテーマ

超我の奉仕

RI (国際ロータリー) の創立：1905 (明治 38)
日本のロータリー創立：1920 (大正 9)

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2005～2006年度

10月第4例会プログラム 10月27日 (第2358回)

点鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
幹事報告
委員会報告
会食
卓話
にこにこBOX
出席報告
点鐘
ロータリーソング

会長
四つのテスト
親睦活動委員会

羽方 亨会員
S.A.A
出席委員会
会長
それこそロータリー(1)

格調高く、和やかに

例会場：ホテルロイヤルレイク土浦 / 例会日時：木曜日 12:30～13:30

VOL. 16

先週の例会報告

1. 卓話「職業奉仕月間に因んで」

地区職業奉仕総括委員長 作山 吉永氏(高萩RC)

国際ロータリー第2820地区職業奉仕委員会

05-06 RI テーマ『超我の奉仕 / Service Above Self』

今年度方針：『原点に還る』・・・ロータリーの哲学(理念)を学ぶ



「何のためにするのか」という問いは、何をする上でも大切なことです。しかしこの問いは哲学的意味を含んでいて、容易に答えられないことがあります。

「私は何のためにロータリー活動をしているのか」という問いも、その一つかもしれません。だからこそ先人の言葉に耳を傾け、自分自身に問いかける必要があるのだと思います。

ロータリーの先哲は経験から学んだ多くの知恵を残してくれました。フランク・コリンズの『Service, not self』に起因し、アーサー・シェルドンによって提唱され、世界中のロータリアンの吟味を経て、国際ロータリーの第一標語になった『Service Above Self (超我の奉仕)』もその一つです。

今年度 RI 会長、カール・ステンハマー氏は、ロータリーの最高目的とも言えるこのことばをテーマに掲げました。ステンハマー会長は、「原点に還ろう」と呼びかけているのです。この呼びかけに応じて私たちは、『超我の奉仕』とは何か、ということを変更して考える必要があります。それはとりもなおさず、私たち自身がロータリー活動を行う意味を考え

ることになるのです。

ロータリーの奉仕活動の中核は、職業奉仕です。「職業奉仕はロータリーの金看板」という言い方をされることもあります。なぜならロータリーは職業人の集まりであるからです。職業実践のなかで奉仕を行う、つまり職業上の利益を得ながら奉仕するというのがロータリーの基本なのです。

この一見矛盾する命題を聞いて、「そんなことができるのか、どうしたらそれが可能になるのか」と考えることが職業奉仕の第一歩なのです。

前出のシェルドンに、次のよく知られた言葉があります。『He profits most who serves best. (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)』

他者への奉仕は、結局自分の利益として還ってくるのだ、とシェルドンは言っているのです。

ロータリーの奉仕とは、自己犠牲によるものではないのです。相手も喜ぶが、自分もまた嬉しいというものです。つまりロータリーの奉仕の哲学とは、自利と利他の調和を図るものであり、自他共存の思想と言えるでしょう。

とすれば、職業奉仕と言っても何も難しいことはありません。値引きやおまけをしてもよいでしょうし、たとえ金銭的に奉仕できなくとも、専門の知識を教えてあげてもいいし、お客さんにニコッと微笑むだけでもよいのです。相手に嬉しいという気持ちを持ってもらうことができれば、それはもう立派な職業奉仕と言えます。

職業を通して奉仕し、それが自分の喜び、または利益にもなるということを理解し、その実践の道を歩み出したとき、その人は真のロータリアンと言えるのだと思います。

2. 幹事報告

廣瀬直前会長へ、国際ロータリー退会防止試験的プログラム会合参加への餞別贈呈
ロータリー財団からの表彰について

小原 芳道さん、小原 芳郎さんが萩原亢雄ガバナー訪問時に行った寄付に対する表彰(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

3. 委員会報告

(1) 環境保全委員会

霞ヶ浦総合運動公園清掃とバーベキューの案内について
公園清掃後にバーベキューを実施します。

11月13日(日) 午前10:00~

会費2,000円(ご家族は無料)

(2) 親睦委員会

地区交流野球大会について

10月15日(土)に行われた野球大会では、惜敗しましたがすばらしい戦いでした。
当会員の銭谷さんが珍プレー賞を受賞されました。

(3) 職業奉仕委員会

10月23日土浦市健康まつり、11月19・20日職場見学(柏崎刈羽原子力発電所)と盛りだくさんの
行事が続きますが、大勢の皆さんの参加をいただき意義あるものとしたので宜しくお願い致します。

Topics

第26回ライラセミナー

新世代奉仕委員長 水谷 賢

10月14日より3日間、茨城県立中央青年の家にて、「ロータリー青少年指導者育成プログラム(ライラ Rotary Youth Leadership Awards)」が開催されました。岩瀬さんが委員長を努める地区ライラ実行委員会、ホストクラブの土浦ロータリー支援のもと、大変充実したセミナーとなりました。

3日間のセミナープログラムは、「茨城県霞ヶ浦環境科学センターの見学」「国際理解・交流に向けたフリーディスカッション」「ワークショップを踏まえたグループディスカッション」等、まさに指導者を養成するための密度の濃いものでありましたが、土浦RACのメンバーを含めた100人を超える参加者全員が、本音で語り合っていたのが印象的でした。誠にありがとうございました。



土浦市健康まつり

職業奉仕委員長 木村 芳弘

秋晴れの10月23日(日)下高津2丁目の土浦市保健センターで、土浦ロータリークラブ後援の「土浦市健康まつり」が開催され、たくさんの市民でにぎわいました。

当クラブが担当した「医療相談コーナー」は、眼科・海老原雄一、内科・小原芳道、小児科・石川清人、産婦人科・鈴木博一、歯科・石井敏裕の5名の医師が、55名の市民の医療相談に対応しました。多くの市民の方々と実行委員会から感謝の言葉をいただき、医療に関する職業を通じてご奉仕できたことに誇りと喜びを感じた一日でした。先生方をはじめ、参加いただいた会員の皆さんごろうさまでした。



「名医の門前市をなす」大盛況でした。



岩瀬さんは握手攻め？
ハンド・マッサージでした。

寄付金報告

米山奨学金

受付日	氏名	金額	累計
10/20	松浦 泰三	30,000	30,000
10/20	井坂 圭一	30,000	120,000
10/20	円城寺紘征	30,000	210,000
10/20	福田 博	30,000	910,000
10/20	鈴木 實	30,000	300,000
10/20	菊池 信子	30,000	300,000
10/20	石井 敏裕	30,000	360,000
	計	210,000	

累計 1,320,000円

本日のメニュー

一刺し身定食一

まぐろ いか ほたて かに身 サーモン
添え野菜 土佐醤油

汁 豚汁

ご飯 白米

サラダ かぶらとサラダ菜の胡麻風味サラダ

来訪ロータリアン

作山 吉永君(高萩) 鈴木 子之吉君(浦和東)

にこにこBOX

10/20 27,000円 累計 765,000円

作山君~お招き頂きまして有難うございました。

鈴木君~今日はお世話になります。今度、廣瀬様と退会防止プログラムの会議でシカゴへ行ってきます。

岩瀬君~ライラセミナー無事終了しました。ご協力有難うございました。

廣瀬君~10月23日から27日までR Iの試験的退会防止プログラム会合に出席して参ります。

一緒に参加する浦和東RCの鈴木子之吉さんが本日クラブにメイクされました。

銭谷君~珍プレーのお陰で内股になりました。なかなか腫れが引かないようです。

木村君~作山吉永さんをお迎えしての例会、期待通りいとお話を伺えて嬉しく思います。

誕生祝~杉山幸子様

メイクアップ

岩瀬・水谷・鶴田・堀越・鈴木・臼田・円城寺・山本・河合(10/14~16 ライラセミナー)
野球部(10/15 地区野球大会)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率	メイク	前週訂正
70名	11名	59名	11名	81.36%	4名	81.36%

例会予告 11/3 休会(文化の日) 11/10 ロータリー財団月間に因んで